

みあさづくり



よっとくれフェア&美麻市開催

天气に恵まれ暑さの続く中、美麻地域づくり会議では8月11日（山の日）に、地域の交流や道の駅の活性化を目的に美麻いーとこよっとくれフェア&美麻市を開催しました。

豊科高校書道部に所属している源流美麻太鼓のメンバーの声掛けにより実現した太鼓のオープニング演奏にあわせた書道パフォーマンスには、来場者から大きな声援が送られました。

素晴らしいパフォーマンスをありがとうございました。



Miasa Community Design Since 2005



ホームページ
美麻Wiki



facebook



QRコードを読んでパソコンや
スマホでもご覧ください。

<http://miasa.info/>

<https://www.facebook.com/miasawiki>



美麻いーとこよっとくれフェア&美麻市開催

美遊内では、地元の方が育てた農産物や美麻の店舗のテイクアウトが出店しました。花まめやの前では「肉の日」にも出店をしている地元の木を使った木工クラフト体験や、ジビエカレー、豆腐ドーナツなどの出店もあり賑わいました。野外では深刻な課題である鳥獣被害低減の為、電動銃を使った追い払い体験を大勢の方ができるように体験していただきました。今後も地域ぐるみで取り組みを行いたいと思います。また、地域の方は誰でも使用が容易な電動自転車（eバイク）・充電式草刈り機の体験を行い、皆さん楽しんでいました。



体験された方には、ジビエ料理のメニュー開発に取り組んでいる地区内の飲食店で使える「ジビエ料理の割引券」を進呈し、食を通じた有害鳥獣対策にも協力いただきました。

美麻小中学校9年生は、日頃の総合学習の成果の発表として美麻の民話の読み聞かせや美麻の絶景写真の展示、生徒が開発したジビエクッキーの粗食もあり生徒たちは緊張しながらも一生懸命取り組んでいました。



夏季球技大会 3年ぶりに開催 住民が久々の交流



に分かれ、選手同士の親睦を図るとともに、静かな闘志を内に秘め熱戦を繰り広げました。美麻公民館の細井忠大会長は「コロナ禍でも、大勢の人が集まって開催でき、皆が交流できて良かった」と話しました。



美麻地区の夏のイベント、夏季球技大会が8月21日、美麻小中学校で開かれました。新型コロナウイルス感染症のあおりを受け、一昨年、昨年と2年連続で中止となっており、3年ぶりの開催となりました。

競技は、依然高止まりが続く新型コロナ第7波を考慮し、屋外競技のグラウンド・ゴルフのみを実施。各公民館分館より、美麻小中学校7年生からご年配の名選手まで、約60人が出場しました。選手は、4人1組のグループ

なお、大会結果は次のとおり。
▼ 団体の部 優勝：千見チームB、準優勝：大塩ファイト、第3位：青貝B。
▼ 個人の部 優勝：傘木則興（千見）、準優勝：竹内稔（大塩）、第3位：田邊勇（大塩）。

保育園の話題

トマト狩りに行ったよ♪ (8月19日)



今年も二重の佐藤修一さんのハウスに招待していただきました。去年よりハウスが1棟増えていて、背丈以上に大きくなったトマトの木に真っ赤なミニトマトがたくさんなっていました。

「真っ赤なやつ採るんだよ。」と教えてもらいましたが、子どもたちにはどれもおいしそうに見えたようで、はしから採っていました。「歳の数だけ食べていいよ。」という約束で食べてみると、とても甘くて、食べ出したら止まらない子もいました。小玉スイカも収穫させていただき、初めての経験で、落とさないように真剣に運んでいました。たくさんの愛情と手間、時間をかけて育てている佐藤さんに感謝しながら、重いトマトとスイカを持って帰りました。

今回、天候が悪かったため吉沢岑夫さんのお家には行けませんでした。たくさんのトマトととうもろこしを届けていただきました。

地域の方に大切に思っていたら、保育園の子どもたちは本当に幸せです。(園長 北村 幸)

丸切沢で川遊び (1・2学年)

コミュニティ・スクール の話題



はじめは、水の冷たさに体がこわばる子もいましたが、時間が経つにつれて川に体がなじんでいき、川の中をバランスよく自由に歩き回ったり、全身を川に入れたりとだんだんダイナミックな動きになっていきました。川の水はとてもきれいで、歩くと小さな砂(雲母かな?)がキラキラと舞い上がって光っていました。どうすれば水生生物が捕まえられるのかを考えて行動

したり、川の中の斜めになっている岩を滑り台にして遊んだりとその場ならではの時間を満喫することができました。

(文責 1年 野本和幸)



みんなで楽しもう! わくわく夏祭り♪ (なしの木・白樺)



今年も、なしの木・白樺学級の生活単元学習として、7月8月に夏祭りを行いました。今回

は「くじ引き」「ポッチャ」「かき氷」「輪投げ」「的あて」「ヨーヨー」の6つのお店を準備し、1年生から9年生まで学年ごと招待しました。毎回、お店を始める前に、「ゲームのときはお客さんを応援しよう」「ていねいな言葉で話そう」などとめあてを確認して取り組みました。自分の得意なことを生かしてお店の準備を進めたり、

お店で友だちや先生と楽しくやりとりをしたりして、今年も楽しい夏祭りとなりました。

(なしの木2組担任 塚田)



コミュニティ・スクールのお話

「ふねを作って、1年生と遊びたい」2学年

子どもたちが2年生になって最初にやりたいといったのは、「大きなふねを作って、1年生をそのふねにのせてあげたい。」ということでした。

5月から早速、ふね作りプロジェクトが始まりました。各々家庭からペットボトルや牛乳パックを持ち寄り、5本ずつ束ねブルーシートで包みました。9月9日いよいよ進水式です。小プールにふねを浮かべて、安全のためにまず2年生が試しに乗ってみました。船は大きくしなりはしましたが、折れることなく浮かびました。次はいよいよ1年生の番です。2年生が船の回りにつき、1年生も落ちないように慎重に乗りました。11人乗ってもふねは頑丈で、2年生が押してあげるとスイスイ進みました。2年生はとても嬉しそうでしたが、それ

以上に1年生は大喜び。2年生の夢が叶いました。

次は、大プールに挑戦です。今度は1年生も2年生も一緒に乗りとても楽しい時間になりました。

(文責 2学年担任 松澤 享)



本物を見たい！！青具探検 3学年



今回の探検は青具です。7月8日(金)に神明社、旧中村家、天狗岩を見学してきました。神明社では、宮司の傘木則興さんの案内でお参りの仕方を確認して、本当は入れないようなところまで見学をさせてもらいました。神様のすぐそばまで見学した時には、みんな緊張感たっぷりでした。その後は、恒例になった二重の中島由子さんのお話です。赤岩大天狗のお話を楽しみました。旧中村家では、大町市生涯学習課文化財係の関本さんの案内で、建物の説明をお

聞きしました。今とは違う家屋の様子に、子ども達は目や手を働かせ、案内を超えて見学をしていました。

その後、先ほど聞いたお話の天狗岩を見るために車で移動していると、大きな看板がありました。かなり大きな看板なのに、これまで気がつかなかった子もいたようです。「登りたい！」という気持ちでいっぱいでしたが、この日はここで時間切れ。本物を見て触って感じたい子ども達です。

(文責 矢口秀幸)



コミュニティ・スクールの話題

小屋作り、 雪がふる前に、 頑張るぞ!! (4学年)

3学年の時から継続をしている小屋作りでは、土壁の中に入れる竹小舞を作ろうと、頑張っています。一学期に千見から持ってきた竹を使って、土壁の中に入れる竹小舞を作っています。縦列は竹を割って地面に木づちで打ち込みました。横列の竹は、編み込むため、しならせなければなりません。竹を細く割くコツを北沢孝一さんに教わり、いざ割いてみますが、すごく難しい…。根気強く頑張ろう!!
(文責 4年担任 鳥屋 心吾)



ザ・バクバク・エンジョイ・デイキャンプ! (5学年)



7月21日(木)に木崎湖へデイキャンプに行ってきました! お昼はカレーライスやピザ、フレン

チトーストなど各班でメニューを考え、計画を練ってきました。キャンプ場に到着し、早速昼食作りに取りかかりました。火起こし担当、材料を切る担当、誰かの指示で行動するのではなく、自分から行動する姿があり、ステキでした。自分たちで作ったご飯は格別の美味しさです。静かな湖畔にシートを敷き、食べている子どもたちを見て良い日になったなと感じました。午後のアクティビティ(水泳、木工)でもそれぞれ元気に頑張りました。
(文責 松尾 真理子)

松崎和紙体験 証書づくり (6学年)

9月2日(金)、松崎和紙さんに来校していただき、和紙づくり体験をさせていただきました。

初めて触った原料の白い繊維をちぎって水に溶き、美麻の麻の繊維も入れました。そこに特製の「トロロアオイ」の液を適量入れてかきまぜました。とろみの感触に歓声があがりました。量は長年の経験からわかるのだそうです。慎重にすくって和紙にするのですが、均一にするのが難しそうです。証書用の大きい和紙は一人2枚。真ん中に美麻小中学校の校章を入れてすきました。

大町市の伝統的工芸品に直接触れる貴重な体験をさせていただきました。

自分で作った和紙が、小学校課程の修了証書に

なり、3月の修了式の時に受け取ります。たくさんのお思いがこもった、特別な修了証書になります。
(文責 6年担任 高橋文男)



コミュニティ・スクール の 話題

職場体験では、お世話になりました（7学年）

8月25日、26日に、職場体験を行いました。7年は美麻地区内の事業所（山仕事創造舎さん、美麻支所さん、花まめやさん、ほかほかランド美麻さん、農家さん）にお世話になりました。実際にお客さんの前に立って接客をしたり、重機を動かしてみたり、日々の生活では体験できないことが多くあったようです。人々が働く理由はお金のためだと思っ

が生きてくるといいなと思います。今回の職場体験、快く受け入れてくださった事業者の皆様、本当にありがとうございました。

（文責 中野 拓哉）



花まめやでの職場体験、調理中



農家での職場体験
青唐辛子の選別中

OBSアドベンチャー体験教室 がんばった!!（8学年）

7月19、20日、7・8年生で行った体験は、ただのキャンプではなかったです!! 様々な課題に、チームでチャレンジするというものでした。チャレンジの中で変化、成長が感じられ、課題をクリアできない事が多かったのですが、決して無駄ではなく、その都度自分や友達の輝く場面を感じたり、自分やチームはどうすればいいのかを考えたりできるようになってきました。友達のサポートで盛り上がりたり、みんなでクリアしたことがある度に、声を上げて喜び合ったりするようになりました。これからの生活で、どんなふうに関わっていけばいいかを感じ、体で学んだ2日間だったと思います。また、子どもだけで考えているうちに正解に近づ

いているのを感じ、日頃、教師が周りから口出ししすぎなんだなあ!と改めて考えさせられました。また、食事の準備片付けの手際の良さにも驚かされました、さすが8年と思わず声が出るくらい、分担したり、自分から動いたり・・・できる人たちなんだなあ!と改めて感心しました。

（文責 8年担任 小山保男）



一年越しの職場体験学習（9学年）

今年度の職場体験は、いろいろな意味で特別なものになりました。通常9年生は職場体験を行いません。しかし9年生は昨年度、コロナ禍

で体験を実施できず、職場の方に学校に来ていただいてお話を聞く「キャリアフェス」を行ったのですが、やはり実際に働く体験を積み



スイーツ安曇野店での職場体験中

改めて計画しました。一人一人が「やりたいこと」「なりたい職」について考えた上で職場を決め、大町市内から松本市までの広い範囲の9職場にお世話になることができました。どの職場でも、目の前の仕事に浸りきり、真剣なまなざしで働く姿がありました。体験の感想以外にも、自分なりに仕事の内容を事細かにメモしてまとめている姿に、その仕事への思い入れを感じました。この状況下の中で体験を快諾いただき、また当日も本当に親身になって子どもたちに寄り添っていただいた職場の皆様には、本当に感謝です。今回の貴重な体験が、子どもたち自身が本当に職を選ぶときに、大事な指針となってくれることを願っています。

（文責 森川 寛）

ラフティングで弾ける笑顔！ 夏の自然を満喫・



美麻地区子ども会育成協議会は7月27日、大町市八坂の犀川で体験活動としてラフティングを開催しました。この日は、美麻小中学生と保護者等30人以上が参加し、自然を相手に、目一杯楽しみました。

一行は、ウェットスーツやライフジャケットを身にまとい、10人程度でゴムボートに乗り込みました。ボートが出発すると、最初は恐る恐るという感じでしたが、白馬ライオンアドベンチャーのガイドの指揮を頼りに、

力を合わせてパドルを漕ぎ、犀川を下りました。子どもたちは、水しぶきを受けるたびに歓声を上げ、ボート同士が衝突したり、ボートが回転したりするたびに笑顔が弾けました。

弟と兄弟で参加した3年生の赤坂隆至（りゅうじ）くんは「声を合わせてパドルを漕いだり、ボート同士がぶつかったり、パドルを使って水を掛け合ったり、とにかく楽しかった」と日焼けした笑顔で話しました。

（美麻公民館）



イワナのつかみ取りに歓声！ 塩焼きにして堪能・



美麻公民館では8月5日、犀川殖産美麻支部と「青貝を元気にする会」の皆さんの協力のもと、地区内の丸切沢川（大町市美麻青貝丸切沢遊砂地）で、夏休みのイベントとしてイワナつかみ体験を開催。真夏の眩しい日差しの中、美麻小中学生と保護者等30人以上が参加しました。

子どもたちは最初に、放流されたイワナのつかみ取りに挑戦。おっかなびっくりやり始めたつかみ取りでしたが、すぐに慣れ、友達

同士互いに声を掛け合いながら協力し、次々とイワナを捕まえました。中には、水中メガネを付けて川に潜りながらイワナを探す強者（つわもの）もいました。

続いて捕まえたイワナをさばくことにも挑戦。ほとんどの子が初体験でしたが、皆上手にさばけ満足気でした。

その後早速、さばいたイワナを塩焼きにして、昼食として味わいました。塩焼きを気に入る6匹をペロリと平らげた小学2年の熊谷直凧（なぎ）くんは「おいしい。あと2匹はいける」と笑顔で話しました。（美麻公民館）



第4回（7月29日）



午後6時からビアガーデンも開催。美遊横の芝生の広場で、ぽかぽかランドさんが生ビールを出店。フラダンス公演もあり、夕暮れの光とひょうたんランプの中、素敵な夜の部となりました。



第5回（8月29日）



美遊内で「にくの日ほかぽかフリマ」を同時開催。平日のママが集えるフリーマーケットで、不用品のリサイクルと、お気に入りの手頃な価格で見つける楽しい会となりました。引き続き出店者募集中です。

毎回好評、鹿肉料理の出店メニューはパイ、ミートボールカレーの他、タコライス、ベーグルサンドなどがあります。出店メニューは毎月変わりますが、全てテイクアウトできます。その他、地域木材の販売やワークショップ、犬用鹿肉の販売も行っています。今後はマッサージや、トークイベントも企画中です。

《開催予告》

- ▼ 9月29日（木）フリーマーケット。木工体験、ギター弾き語りライブ（13時）
 - ▼ 10月29日（土）楽しめるイベントを計画中です。
- 【お問合せ】 花まめや 080-2212-3831
instagram@hanamameya

【視察の受入】松本市城東地区の皆さん

松本市城東公民館（広報部会）の皆さんが8月25日（木）視察にお越しになりました。城東地区では、公民館報や福祉に係る情報を1つにまとめた住民中心の広報誌発行を6月から始めたそうですが、編集や発行に苦労していることから、長野県生涯学習センターに相談したところ、以前、美麻小中学校に勤務されていた池口先生の紹介で今回の視察となったそうです。

当日は、地区の町会長さん、民生委員さんなど9名の編集委員の方がお見えになり、紙面の見やすさや読む人に興味を持ってもらうための工夫などを中心にご説明しました。

また、美麻小中学校7年生が職業体験として参加し、地域づくり通信についての感想や、コミュニティカレンダーの紹介をしました。参加された方からは「学校の情報を含め見ど

ころのある通信で見やすい。」、「地域の意見や情報が盛り込まれており、真似ができるのか心配。」といった感想がありました。

視察の受入れを通して地域づくり通信の発行が16年（90号まで）続き、地域の皆さんの意見や思いが掲載できているのではと感じました。（美麻地域づくり会議 広報部会）



～久しぶりの故郷～（しなののおおまちワーキングホリデー）



信濃大町ワーキングホリデーに6名の学生が参加しました。8月10日から12日まで美麻地区出身の学生を含め美麻市のお手伝いや一般社団法人で利用予定の旧医師住宅（湯の海）の掃除などを実施しました。

今回参加いただいた学生さんは美麻地区出身の方もおり、久しぶりの故郷を感じながら地域の事業に参加できた休日であったと思います。（美麻支所総務係）

参加いただいた方から、「地域での取り組みに参加できてよかった」、「休日を利用し

て地域の仕事を手伝える喜びを感じた」などの言葉をいただきました。

信濃大町ワーキングホリデーは2月28日まで受入れ可能ですので、地区出身の学生さんも休日を利用し地域の魅力を再発見する機会としてご利用ください。

【参加者感想】

帰省にあわせ「しなののおおまちワーキングホリデー」に参加しました。

就労をしながら休日を過ごす故郷ということで、就労の内容などへの不安や、友達と一緒に参加することもあり、特に目標もなく参加してしまった状況でした。

美麻市のお手伝いや地域資源となりうる旧医師住宅の清掃など、美麻に住んでいるときには気づけなかった地域の活動などに気付ける機会となり、非常に楽しい時間を過ごせました。



みんなで作る みあさの みらい プロジェクト

タスカル美麻 生活支援サービス準備中

住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう小さな拠点の事業として、生活支援サービスを開始する準備をしています。

① 生活支援サービス

自分ではできない日常生活上の作業（ゴミ出し、草刈り、家の片付け、買い物支援、お墓の掃除等）をお手伝いするサービス

② 道具貸し出しサービス

地区の作業等で必要な道具（草刈り機、除雪機、軽トラック等）の貸し出しを行なうサービス

③ 貸し出す道具を使って、困っている人の支援をしてくれるボランティア（有償）の募集と派遣調整

アンケート調査にご協力ください

美麻地域づくり会議では、美麻支所と連携して生活支援サービスの実施に向けたアンケート調査を実施します。アンケート調査用紙は、9月中に自治会加入世帯に配布されますので、皆様のご意見をお聞かせください。

アンケート調査の結果を参考に、実施するサービス内容、貸し出し物品等を整備し、本年度中に実施に必要な許可等を取得し、事業を開始したいと考えています。



地域の助け合いにもつながるよう、女性でも扱いやすい電動草刈り機など、移住・定住を支援する様々な道具を準備中です。

タイ古式マッサージ店 オープン



大塩でタイ古式マッサージの店“てのひらや”を始めます齋藤と申します。

「自分と家族の食べる米と野菜を自分で作る生活」をしようと8年前に移住してきました。移住してきてからは自給自足と仕事の両立で試行錯誤の連続でしたが、美麻で小さい店をやりたいと思い、マッサージの世界に挑戦することに。

タイ古式マッサージとの出会いは偶然です。別のマッサージを習っていたのですが親指を

けがしてしまい断念。困っていたところあまり親指を使わないタイ古式マッサージに出会いました。出会いは偶然でしたが、優しい感じやストレッチが多いところなど、自分がやりたかったことに合っています。

今は、店の本格オープンに向けて、50人のモニターを募集して実践経験を積ませていただいております。

地域のみなさんと一緒に美麻を盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いします。

大塩中村955番地1 齋藤英毅

090-7178-7570

美麻地区への移住が 全国放送で紹介

大塩地区に移住された衣川さんを取材した番組が、NHK 総合テレビで9月20日に放送されました。

番組は、インターネットでも放送後7日間まで視聴できるそうです。ご覧ください。

<https://www.nhk.jp/p/ts/J7775NQ8GW/episode/te/1J8QW3WYRP/>

おやきの里めぐりデジタル ・スタンプラリー 開催中!



参加申込用 QR コード

オリンピック白馬ルート地域振興協議会（長野市中条、小川村、大町市美麻）では、この地域の活性化を図るため「信州アルプスおやき恋訪」のイベントを開催しています。

現在「おやきの里めぐりデジタルスタンプラリー」を実施中です。期間は、10月30日までです。

（参加方法）

- ①スマートフォンでQRコード（→）を読み取り参加申込する。
- ②中条、おがわ、ほかほかランド美麻の3カ所の道の駅をまわって掲示のポスターを参考にスタンプポイントのQRコードをスマートフォンで

読み取ってスタンプを獲得。

③スタンプを3つ集め、アンケートに回答すると「おやき2個」と交換できる画面が表示。

④おやきの参加店舗(下記)のいずれかに画面を見せておやきをゲット！（各店舗先着50名）①おやき処 猪乃源(美麻)、②食事処 味菜、③農の花(さんさん市場)、④小川の庄 おやき村(以上小川村)、⑤道の駅 中条、⑥やきもち家(以上中条)（美麻支所産業建設係）

自転車ロードレースについて

自転車ロードレースは、令和元年度の文部科学大臣杯の全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ）を最後に美麻地区では開催されていません。本年度も当地区での開催予定はないとの連絡が競技団体からきています。来年の8月下旬か9月上旬に当地区での開催にむけて競技団体内で調整中ですが、開催が決定した際には、ご協力をお願いいたします。

（大町美麻自転車ロードレース大会実行委員会）

お元気で長生きしてください

例年9月に開催していましたが敬老会の式典について、今年も新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し実行委員会では自粛することとしました。このため、敬老の日に合わせ記念品を贈ることとし、対象者183人の方にお届けいたしました。記念品の内容は、美麻地区で収穫した花豆を使った甘納豆や、大町市内の菓子店のお菓子の詰合せです。

また、賀寿の皆様へは、みあさ保育園児が一生懸命作成した素敵な小物入れを記念品に添えてお渡ししました。

これらの記念品が、少しでも皆様の心の癒しとなり明るい気持ちになっていただけるこ

とをご祈念申し上げます。

(美麻地区敬老会実行委員会)



大塩民生委員の高橋房子さんから
大塩 藤井重子さんへ記念品をお渡ししました

集中豪雨等の災害への対策を



8月6日(土)夜に発生した大雨は美麻支所設置の雨量計で、5時間に80mmを超える降水量が観測されました。短時間に多くの雨が

降ったため、美麻地区では複数の崩落等の災害が発生しました。

これから台風シーズンを迎えます。美麻地区は地すべり危険箇所や土砂災害警戒区域が多くありますので、災害に備えて危険個所の確認や大雨などにより災害の危険が高まったときには早めの避難など、災害への対策を心がけていただきたいと思います。また、災害が発生した場合に通行車両等の安全確保のために道路の通行止め対応をすることがあります。ご理解のほどよろしく願いいたします。

(産業建設係)

有害鳥獣出没時の対応について

美麻支所では、農作物を荒らす有害鳥獣(サル、シカ、クマ、イノシシ、など)に対し、市農林水産課や美麻地区猟友会と連携して取り組んでおり、ワナや捕獲檻等を設置して対応しています。有害鳥獣による農作物被害が出た場合、美麻支所産業建設係(電話29-2311)にご連絡ください。また、クマの人的被害が予想される場合(家の庭にいた、通学路で見かけた等)は、市役所危機管

理課(電話22-0420)あるいは美麻支所までご連絡ください。

有害鳥獣から農作物を守る対策として、電気柵の設置に対する補助金制度もあります。電気柵を購入する前にお問い合わせください。市役所農林水産課庶務係 22-0420
注) 電気柵購入後に申請をしても補助金は交付されません。

キッチンカー・デザイン・コンテスト 入賞者決定

地域づくり会議と（一社）地域づくり美麻合同で、キッチンカデザインコンテストの審査を行いました。入選された皆様おめでとうございます。

入選者には賞品を、参加者と入選作品に投票された方には、それぞれ記念品を贈らせていただきますのでお楽しみにお待ちください。

特選（1点）

⑪番 鈴木こころ さん

今回、入選したデザインを参考に美麻のキッチンカーの作成作業が始まります。完成後はイベント等で披露目することとなりますので、お楽しみに。



連載

美麻の口碑伝説

大町地域の豊づくりへの会
～語り継ぐ郷土の心～

十四

権現の大池

（今回は、新行の話）

権現山の麓に窪みがあり、そこには年中水が溜まっていた。ここを「水池」と呼んでいた。明治の30年ころのことである。新行の人々は田畑の水に困っていた。いつの世も水争いは絶えなかった。そこで、古者を中心にこの「水池」から水をひけないかと考え、堤造の工事を始めた。村中の人が交代で工事に携わり堤も完成し、いよいよ明日は水を流して竣工式をしようというところまでこぎつけた。ところが、その前夜まで満水になっていた池の水が、一滴も残らずになくなってしまった。不思議なこともあるもんだと、村中が大騒ぎになった。昔からの言い伝え知る年寄りから、「ここには昔から池を守っている主が住んでいた。工事をす

るのに何の伺いもしなっかもんで、怒ってどこかへ行っちゃまったにちげえねえ。」と説明した。このとき、主は青木湖へ下ったといわれている。また、この池の端には、大町の大黒町の氏神様も祀られていた。毎年、9月22日の祭事には五、六人の代表が参拝に訪れていて昭和の終わりごろまで続いたという話である。《美麻村誌より》



美麻の水は、まろやかで口当たりの良い超軟水だそうです。



編集・発行

美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info